

小岩井地区意見交換会の報告

滝沢市地域公共交通会議
平成30年2月9日（金）ビッググループ滝沢

岩手県立大学 総合政策学部
宇佐美ゼミ 3年 高橋幸恵

きっかけ

7月後半 調査研究テーマの提示

小岩井地区は自治会による住民主体の交通確保の意識が高い



小岩井地区の方々がそのように言われる理由、
また、どのようなことを考えているのかを知りたい



滝沢市都市政策課の佐藤さんと内容を話し合いながら、
意見交換会開催へ

小岩井地区について

平成29年10月末現在 人口 2,110人(住民基本台帳より)



画像 : http://www.city.takizawa.iwate.jp/chiiki_jigyou
<http://www.hotel-miharu.yad.jp/map.html> より引用

意見交換会の実施

日時：平成29年12月16日（土）午後2時から

場所：小岩井地区コミュニティセンター

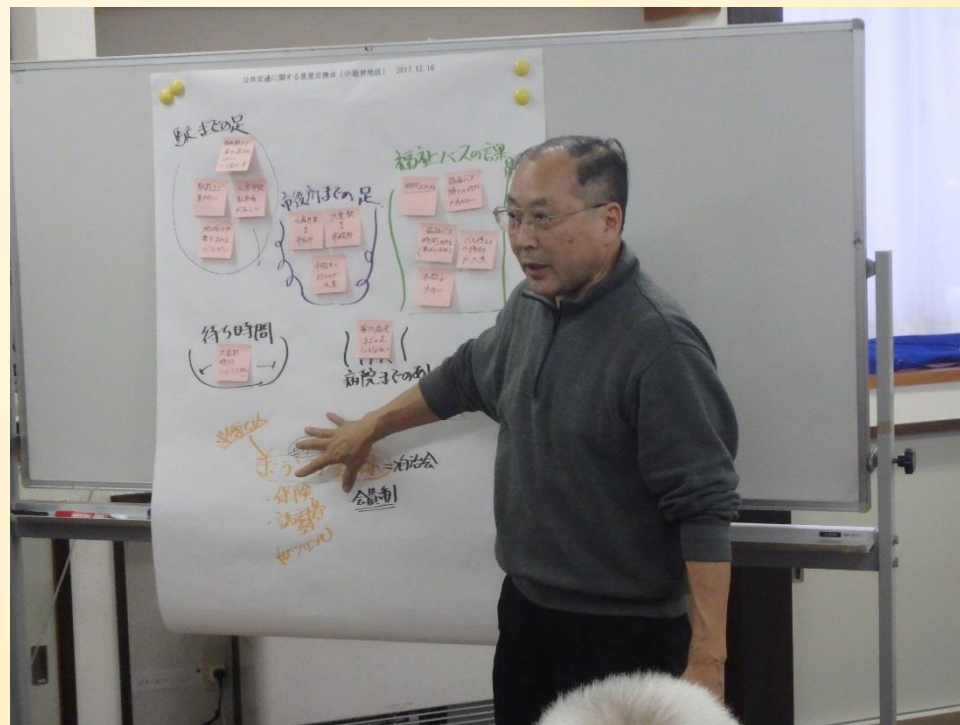
参加者

- 小岩井地区の地域の方々 25名
- 滝沢市の職員の方々 4名
- 社会福祉協議会 2名
- 宇佐美先生、高橋さん（ゼミ生）、高橋

意見交換会の内容

- 1 オリエンテーション（滝沢市）公共交通とマイカーの限界について
- 2 地域協働の先行事例紹介（高橋）
住吉台くるくるバス(神戸市)、枝光やまさか乗合タクシー(北九州市)
- 3 グループワーク（1グループ5～6人4組）
地区の交通の課題を挙げ、整理する
- 4 宇佐美先生の講評

グループワークの様子



出てきた意見

＜交通手段＞

○**盛岡市へは行けるが市役所やふるさと交流館へ行くことができない**

→睦大学にもっと参加したい、土日にも出かけた

○**小岩井駅まで行く手段がない**

＜利便性＞

○**電車の本数が少ない、ダイヤの見直しが必要**

→午後からの用事でも10時に出かけなければならない

○**タクシーは料金が高く負担である**

<情報提供>

- 福祉バスの利用促進をしたほうが良いのではないか
- 公共交通の情報不足（バスの時刻表、バス停が分からない等）

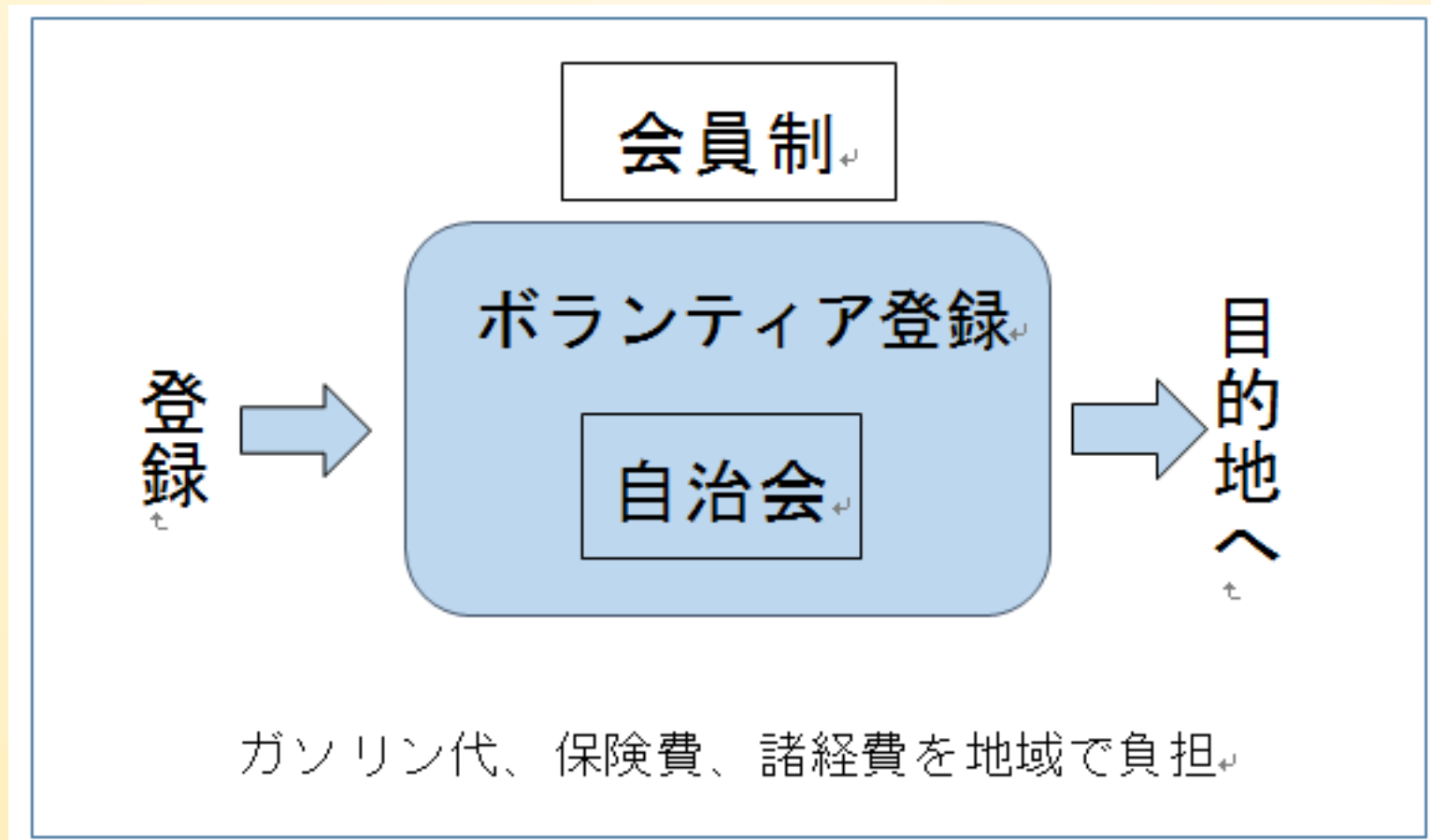
<企画>

- 電車・バス・タクシーの共通の乗り継ぎ券が欲しい

<行政>

- 行政から企画を提案してほしい

グループワークのまとめ



意見交換会の振り返り

- 小岩井駅を軸とした交通の充実
- 滝沢市内を移動できる地域内交通の確保
- 事前登録によるボランティア輸送

住民の方々からはもうひとつ次の段階に進みたいとの声多数



意見交換会はあくまでスタート

計画を立て、実行するところまでつなげるために…

時代の変化を受け入れ、今後を予測する

現在、公共交通とマイカーには限界が来ている

そこで、地域に交通空白地帯を埋める公共交通を走らせよう！となるが

- そもそもなぜ公共交通が通っていないのかといえば、採算性がとれないから
- 税金、補助金を当てにして運行することは不可能



持続的な運行をするために、過疎地域で選択される地域交通の形態は限られる
地域で取り組めることはないか

公共交通への住民参加レベル



○運営組織に入って活動する

住民団体などが運営主体を組織、
自家用車を使用したボランティア輸送など

○運行の費用を負担する

積極的な公共交通の利用、回数券購入など

○検討の場に参加する

意見交換会への参加、利用促進など

○計画に対して要望を伝える

従来の取り組み方

交通の充実によって生活を変える

- 公共交通を維持する、新たな交通手段を実現することを目的としては運行を持続できない
- 移動に困っている人の移動が確保されれば、生活を更に充実させることができる
また、安心して免許返上することが可能となる

小岩井地区で移動の利便性が確保される



移動する機会を増やすことができる、今までよりも行動範囲を広げることができる

卒業研究について

地域交通に関する研究は多数なされているが、地域のリーダーの存在を重要視する結論が多い印象がある

地域において移動が確保されるために

- ① **過去の事例を分析し、今後の時代の変化を考慮した上で、
現在実現すべき地域交通のあり方を検討する**
- ② **住民主体の地域交通を実現させるために必要な要素を検討する**

最後に

- 小岩井地区は地域のつながりがある素敵な地域
生活が便利になることでもっと良い地域に発展することができる
- 滝沢市都市政策課の皆様に企画、雰囲気作りなど
様々な場面でお世話になりました。ありがとうございました。